

新・子どもと社会

架け橋事業

事業報告書 2023



一般社団法人 こもれび



こどもの未来応援国民運動

目次

- ・ 本事業を実施するまでの想い 1
- ・ お仕事体験講座の内容 3
- ・ 振り返りアンケート 10
- ・ “こもれびカフェ” の開店 12
- ・ おわりに 16

本事業を実施するまでの想い

法人として現在、年間100名以上の中学生・高校生の支援をおこなっています。そのほとんどが不登校状態です。その要因はさまざまですが、多くの子どもたちに共通することは、社会体験の不足です。学校生活での学び・友人との遊び・地域社会における活動などの機会が不足しているため、子どもたちは職業への関心や自分の将来のイメージが湧きにくくなっています。また、自己肯定感を高める機会も失っており、将来に対して希望や目標が持てず、次への活力を見いだせずにあります。

そうした子どもたちに職業や社会を知る機会を提供したい。体験を通してさまざまな価値観や人生観に触れながら、自己理解を深め、自己肯定感を高めたい。そのような想いから本事業の開催に至りました。今回で3回目となる本事業は、前2回の講義での振り返りを参考にしながら、子どもたちにより合った内容にバージョンアップして実施しました。

お仕事体験講座の概要

不登校、経済的困窮、自信のなさなど、さまざまな要因により社会体験の機会が失われている中学生・高校生を対象に開催。

キャリアコンサルタントなどの資格を有するキャリア支援のプロによる、全6回の講座と1回の職場実習を「お仕事体験講座」として実施しました。

参加者

中学生：5名 高校生：5名

支援者/回

講師：2名 サポーター：6名(スクールソーシャルワーカー・社会福祉士等)

◆実施内容

1. 自己理解①～自分を知って、自分の強みを探そう～
2. 自己理解②～自分の適性をもとに職業の理解を深めよう～
3. 実習のためのマナー講座～コミュニケーション能力をアップしよう～
職場実習 1回
4. 実習振り返り・体験のまとめ～自分の可能性を知るために体験したことを振り返ろう～
5. 職業調べ～実習経験を活かして、さらに職業の理解を深めよう～
6. マネー講座・全体まとめ～未来に向けてお金との賢い付き合い方と全体の振り返り～

◆職場実習先

igria / 梅鉢工房 / 関西マツダ阿波座店

SQUARE / ル・クロ・ド・マリアージュ / YMCA とさぼり保育園



法人紹介

一般社団法人 こもれび

大阪市西区にて2013年に創設。

『ひとりぼっちをつくらない』を理念に掲げ、中学生・高校生のひきこもり支援やケア付き子ども食堂、フリースクール、放課後等デイサービス、子育て広場、相談支援事業など、さまざまな事業を展開しています。

講師紹介

一般社団法人 ブライトシフト

産業・福祉・教育分野で仕事をしている7人がパラレルキャリアで立ち上げた組織です。

質の高いコミュニケーションのための大切な4つの柱「自己理解・他者理解・自己表現・相互理解」を深めるために、対話型成長支援の研修やワークショップなどを提供しています。



こどもの未来応援基金

こどもの未来応援国民運動

本事業は、子供の未来応援基金の支援を受けて実施しております。

こどもの未来応援基金は、子供の貧困対策を進めるための官民連携プロジェクトのひとつとして、2015年に創設。企業や個人の皆さまから広く寄付を募り、草の根で子供たちへの支援を行う団体の活動を支えることで、多くの方々の「子供たちに何かしたい」という気持ちをつないでいます。

2023年度は、496団体から申請のあった事業の中から審査が行われ146団体が採択されました。

第1回目講座 自己理解①～自分を知って、自分の強みを探そう～

講座の内容

講師の指導のもと、職業カード（OHBYカード）を用いて、自分の興味関心を探りました。

さまざまな職業が書かれたカードを活用することで、日常生活では知り得ない職業を知るきっかけにもなりました。また、どのような職業に興味があるのかによって、自分の本質（モノ作りがしたい、人と接したいなど）を知ることができ、気付いていなかった自分の傾向を発見することができました。どのお子さんも初めての体験に緊張していましたが、キャリア指導のプロの技とツールによって、次第に緊張がほぐれ、楽しみながら参加していました。



第2回目講座 自己理解②～自分の適性をもとに職業の理解を深めよう～

講座の内容

第1回目講座から更に自己理解を深めるためのワークを実施しました。前回知った自分の本質を軸に、将来どのような生活がしたいか、自分の未来像をイメージしました。ワークシートを用いて、現在できていること（強み）、将来やりたいこと、そのためにしなければならないことを記入。自分の未来像を実現するためには何が必要なのか、明日から何に取り組むことができるのか、具体的な方法を考えました。

子どもたちは自己肯定感が低い子が多く、なかなか自分が現在できていること（強み）を挙げるのが難しい傾向にあります。本事業では毎回、講師やサポートスタッフから見た良いところをカードに記入し、子どもたちそれぞれに手渡しました。自分の良いところを自覚することができ、笑顔でワークに取り組んでいました。



第3回目講座 実習のためのマナー講座～コミュニケーション能力をアップしよう～

講座の内容

ビジネスマナー（あいさつ、姿勢、服装など）についての講座を聴き、見た目や態度が他者に与える影響について学びました。実習先でのあいさつを想定し、自己紹介の場面を練習。お辞儀の角度や目を見て話すことなど、講師やサポートスタッフから”アドバイス”や”良いところの声かけ”をおこないながら、反復練習しました。

初めてのお辞儀や言葉遣いに最初は恥ずかしさや戸惑いがあり、なかなか声を出したり、目を合わせたりすることができませんでした。しかし、アドバイスや良いところの声かけ、反復練習によって、みるみるうちに適切な声の大きさと、目を合わせて話すことができるようになりました。どのお子さんも表情が良くなり、姿勢が良くなったことで自信に溢れた様子に劇的に変化しました。



ビジネスマナーの講座が終了し、いよいよドキドキワクワクの職場実習の開始です。



職場実習

子どもたちの興味関心をもとに、こもれびスタッフが地域の企業やお店にお声かけし、多くの皆さまにご協力をいただくことができました。

ル・クロ・ド・マリアージュ（レストラン業務）

開店前の朝礼にはじまり、厨房の仕込み作業、料理のオーダーと提供まで、レストラン業務を幅広く体験しました。

コック服をお借りし本格的な格好をすることで、子どもたちの実習に対する意識がグンと上がっていました。調理することの楽しさや、提供したものを喜んでもらえた時の嬉しさなどを実感。料理名を覚えることが難しかったが、苦手だと思っていた接客業がやってみると意外と楽しかった、という感想が聞かれました。



関西マツダ阿波座店（車の整備）

制服をお借りしホンモノの整備士さながらの格好で実習をさせていただきました。当法人の社用車を点検。エンジン部分について教えていただき、タイヤの空気圧のチェックや洗車などを体験しました。普段見ることのない車の下側を見たり、工具を触らせてもらったりして、なかなかできない体験にドキドキワクワクでした。作業をしながら整備士の方と会話をし、車や整備の仕事についてプロの声を聴くことができました。



YMCA とさぼり保育園（保育）

事前挨拶と実習と2回、訪問をさせていただきました。事前挨拶では、保育園の仕事の概要やYMCA保育園の特色などの説明を受けました。実習当日は、4歳児の教室に入らせていただきました。子どもたちの可愛さ、けんかした時の仲裁や複数のお子さんから別々の遊びに誘われた時の対応の難しさを体感しました。先生方が実際にどのような声かけをしているのかを間近で学ぶことができたことで、プロのすごさがわかり、憧れの存在となりました。



igria（服飾）

オリジナルの洋服や小物をデザインから販売までされている igria さん。実習では、エコバックの製作をおこないました。柄や色の組合せを考え、布を選ぶところから始まりました。裁縫時には役割の異なる2台のミシンを使用。足のペダルにて裁縫のスピードを調整することが初めは難しかったけれど、プロからアドバイスをいただきながら段々とコツをつかみ、立派なエコバックが完成しました。製作をしながら個人でお店を持つまでの経緯や楽しさなどを聴き、どうすれば夢を実現できるのか学ぶことができました。



SQUARE（花屋）

企業・雑誌でのお仕事やフラワーアレンジメント講習などもされている SQUARE さん。
今回は、子どもさんが本来持っている表現力を引き出す声かけや、プロから見たポイントをアドバイスいただきながら、フラワーアレンジメント製作をしました。
講師としての関わり方や、お花をデザインすることの楽しさなどを体感。また、お花屋さんを経営するまでの過程を聴くことができました。やりたいことが形になっていくことの嬉しさを知ることができ、次の一歩への活力となる実習でした。



梅鉢工房（内装工事）

壁（石膏ボード）の解体、新しい壁の取付けなどをおこないました。畳1畳ほどの大きさの石膏ボードを持たせてもらい、重さを体感。壁の解体では、石膏ボードを手で剥がし、どのような構造かを見せていただきました。色々な専門工具の説明を受け、工具で石膏ボードへのネジ打ちを体験。実際にやってみるととても難しく、目印もなく打っていく職人の技に子どもたちは感心するばかりでした。職人さんたちは役割分担をしながら、お互いに安全を第一に作業していることを目の当たりにし、コミュニケーションの大切さも感じる実習でした。

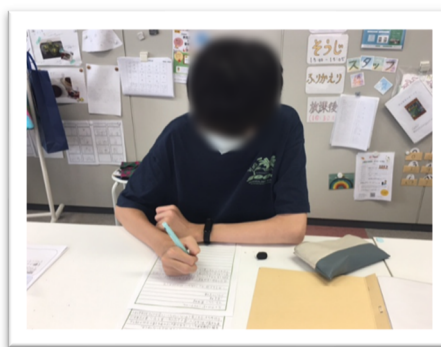


第4回目講座 実習振り返り・体験のまとめ

～自分の可能性を知るために体験したことを振り返ろう～

講座の内容

職場実習の振り返りをワークシートに沿って実施。良かったところ、難しかったところなどを講師やサポートスタッフと対話しながら自身の言葉でまとめました。また、実習先からの振り返りシート（あいさつ、身だしなみなどの評価やアドバイス）が配られました。子どもたちの自己評価と実習先からの他者評価を見比べると他者評価の方が優れている項目が多くありました。実習先からのあたたかいコメントに、子どもたちは改めて実習に行けた喜びや達成感を感じることができました。その気持ちをお礼状としてそれぞれの実習先宛てに作成しました。



実習先からのコメント

- ・朝礼での挨拶がすばらしかったです。
- ・どの作業にも真剣に取り組んでいて好印象でした。
- ・アドバイスをすると目を見て聴いて、素直に行動していました。
- ・積極的に作業をしていた。興味があることが伝わりました。
- ・勇気をもってチャレンジしてくれたのが嬉しかったです。
- ・片付けに困っていることにすぐに気が付いて手伝ってくれた姿がすてきでした。
- ・迎える側の私たちも学びの多い時間でした。
- ・スタッフにとっていい刺激になりました。

第5回目講座 職業調べ～実習経験を活かして、さらに職業の理解を深めよう～

講座の内容

インターネットを使って、仕事やアルバイトを実際に探す方法を実践。自分の考えている仕事をヒットさせるためのキーワード選びや、求人情報の見方、職業に関するサイトを教わりました。一見インターネットを使い慣れていそうな子どもたちですが、普段調べることのない仕事について自分の知りたい情報や正しい情報を検索することは、適切なキーワードが思いつかず難しい様子もありました。インターネットを用いて仕事に必要な情報を得ることに、スキルが欠かせないことがわかりました。講師から教わったサイトは、自身の関心のある職種の他にその周辺領域の職業を合わせて見ることができ、更に関心の範囲を広げたり、自身のやりたい仕事を見つけたりすることにつながりました。



第6回目講座 マネー講座・全体まとめ

～未来に向けてお金との賢い付き合い方と全体の振り返り～

講座の内容

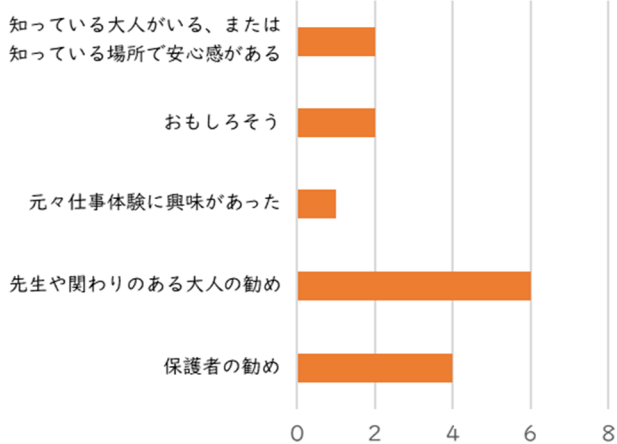
マネー講座では、お金の賢い使い方について考えました。それぞれにニーズとウォンツを挙げ、買物の優先順位や収支のバランスについて学びました。そして最低賃金で働いた場合の収入や、コンビニとスーパーでの価格の違いについても学習し、計画性を持ってお金を遣う大切さを感じました。消費トラブルについても学び、トラブルに陥りやすい場面や対処法について考えました。

最後の全体まとめでは、これまでにもらったスタッフからのコメント（自身の強み）を見返し、今回の体験全体を振り返り、達成感を得るとともにこれからへの自信をつけました。



振り返りアンケート

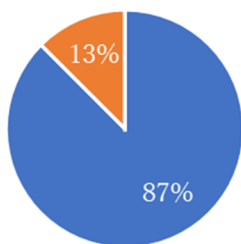
どうしてこの体験に参加しようと思
いましたか？（複数回答可）



お仕事体験で学んだこと、発見したこ
とは何ですか？（複数回答可）



お仕事体験に参加してどうでしたか？



- とてもよかった
- よかった
- ふつう
- あまりよくなかった
- よくなかった

【選んだ理由】

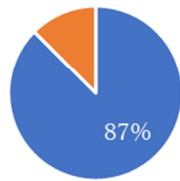
- ・楽しかったから
- ・仕事のことだけでなく他のことも色々知れたから
- ・実際に体験して仕事の大変さや、楽しさを知れたから
- ・知らなかったことをたくさん知れた
- ・自分だけじゃ絶対に学ぶことができないことを学ぶことができたから
- ・内容がスルスル頭に入ってきて、講義の構成が良かったから
- ・学校では学べないことをたくさん教えてもらったから
- ・どんなことをしているかなどわかったから

体験中大変だったことは何ですか？

- ・朝起きること
- ・自己紹介をすること
- ・自分の気持ちを考えて書くこと
- ・社会に出たら考えることが多いこと

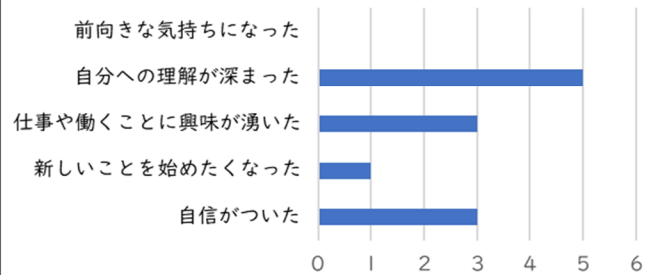


参加する前と後で、
自身にプラスの変化はありましたか？



■変化があった ■変化がなかった

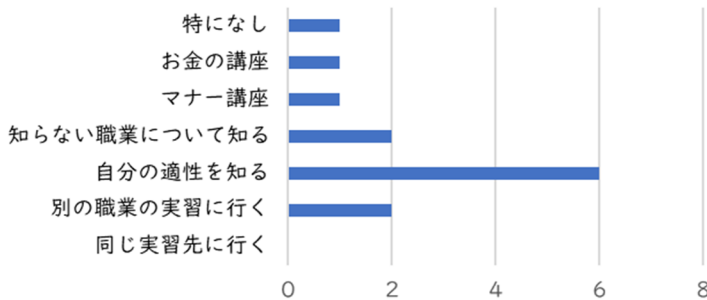
どこに変化がありましたか？
(複数回答可)



どうしてそのような変化が生まれたと思いますか？

- ・ 自信がついた
- ・ 新しいことを知り、実習でしか感じられないことを感じられたから
- ・ 自分の長所を新しく見つけられたから
- ・ 自分のことをより知れたから

今後さらにやってみたいことはありますか？
(複数回答可)



感想・自由記述

- ・ 良かった
- ・ 将来を良くするための大切なことが沢山知れた
- ・ ありがとうございます
- ・ とても有意義で素敵な時間でした
- ・ 可能性しかない、という言葉が胸に刻みます

“こもればカフェ”の開店 ～お店の仕事を体験してみよう～

事業の概要

お仕事体験講座の終了後、追加事業として「こもればカフェ」の開催を企画、実施しました。

2024年2月7日、こもればカフェ Open!

子どもたちが店員となって保護者や法人スタッフにおもてなしをしました。メニュー作りから接客まで何もかもが初めての経験で、準備も慌ただしく当日もドキドキでしたが、子どもたちのスキルが輝き、お客さんをたくさん笑顔にすることができました。また、たくさん喜んでいただけたことで子どもたちも働くよろこびや充実感、達成感を実感することができました。

当日参加した子ども	お客さん
6人	23名

こもればカフェができるまでの子どもたち

① 子どもたちに企画説明、参加希望の確認

飾りつけなどの事前準備、事前調理、当日担当する店員という3つの工程の中から、自分が参加したい組合せを子どもたち自身が選びました。

② 子どもたちそれぞれにメニュー決め、試作

お互いに被らないように考慮しながらメニュー決め。
納得いく出来になるまでレシピを変えて試作を重ねました。



③ 招待状の作成

手書きのメッセージを添えた招待状を作成後、子どもたちが法人スタッフに手渡しに行きました。

④ お店のコンセプトアンケート

A.何もしない B.おしゃれ C.パーティ風 からお店のコンセプトを決めました。

⑤ 看板、メニュー表づくり

自分のメニューを紹介するためのメニュー表を作成。
また、タブレットでオリジナルの看板を作りました。



子どもたちが作成したメニューの数々

⑥ 飾り付け

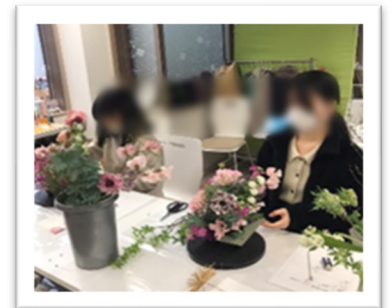
パーティ風に決まったコンセプトに合わせて輪っかの飾りを作成。
当日参加しないフリースクールの子どもたちもお手伝いしました。



⑦ 講師 (フラワーアレンジメント・ドリップコーヒー)

◆フラワーアレンジメント

当日のテーブル飾りとしてフラワーアレンジメントを作成。
普段できない体験にドキドキわくわくしながら取り組みました。
最初は完成のイメージが湧かず、少しとまどいもありながらのスタート。ゆっくりと時間をかけてイメージを膨らませました。
段々と完成の形が見えてくると自然と手が動きました。
同じ花材で作ってもアレンジする人で印象が変わり、その違いも大きな発見でした。



講師：SQUARE さん

◆ドリップコーヒー

ドリップコーヒーの淹れ方を教わりました。
初めての体験に緊張しながら、講師のお手本をしっかり見て、
ポイントを学びました。挽きたてのコーヒー豆のいい匂いを実感。
ドリップコーヒーには丁寧な手順があること、カップが冷たいものと湯煎されたものでは味が変わることなどを学びました。
実際に淹れる練習をした時にはとても緊張しましたが、自分で淹れてみたコーヒーは特別に感じられました。



講師：Café Weg さん

こもればカフェ当日の子どもたち

当日は順番にキッチンを使うため、早い子は午前中から調理を開始。オープンまでに調理、接客練習、コーヒーの淹れ方を確認しました。本番は、接客係、ドリンク係、キッチン係の3つを30分ずつ交代のローテーションでおこないました。



開店前、飾り付けられたテーブルと静かにお客さんの来店を待つ店内

【当日のメニュー】

メレンゲクッキー・ゴツモリカップケーキ・半生ガトーショコラ・ミニパンケーキ・
ロータスパイ・サンドウィッチ（5種類）
おすすめドリップコーヒー・紅茶

接客係

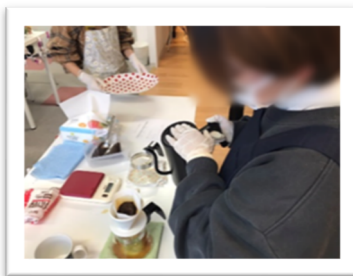
席案内、オーダー提供、片付け



お客さんを席へ誘導し、メニュー表を渡しました。オススメのメニューを聞かれると、自分が作ったものを紹介したり、ドリップコーヒーを勧めたり。顔見知りの法人スタッフも来客し、リラックスした環境で接客に挑戦することができました。慣れ親しんだ法人スタッフ相手であっても、お客さんとして、しっかりと接客用語を遣いながらおもてなしをしました。料理の準備が整うと、各テーブルに料理を運びました。「おいしい」とお客さんから声をかけられると笑顔で「ありがとうございます」と返していました。

ドリンク係

ドリップコーヒーを淹れる、紅茶を淹れる、提供



接客係からのオーダーを受け、ドリンクを淹れました。カウンター席のようにお客さんに見える形で設置されたドリンク台。子どもたちはお客さんからの視線に初めは緊張していましたが、お店が慌ただしくなるにつれお客さんからの視線も気にならなくなり、習った通りに1杯1杯丁寧に淹れることができました。また、お湯がなくならないようにする、カップが湯煎できているようにするなどの準備にも気を配りながら、スムーズに提供できるように心がけました。

キッチン係

盛りつけ、あたため、お皿洗い



接客係からのオーダーを受け、お皿に料理を盛り付けました。サンドウィッチはトースターで温めなおし、温かいものを提供しました。

準備ができると接客係に伝えました。どのオーダーの提供が終わっているのか、まだなのか、混乱する時もありましたが、接客係と確認をしながら取り組みました。コーヒーカップの数を考え、カップが返ってくるとすぐに洗って、ドリンク係に渡しました。

■お客さんからの感想■

- ・テーブルの上のお花がとてもきれいで、華やかで明るい気持ちになりました。
- ・とても一生懸命自分のお仕事をしていて、見ていてとても気持ち良かったです。
- ・メニューを決めたり、お菓子の試作をしたり、とても頑張っておられたんですね。そのおかげで当日はとてもおいしく楽しい時間を過ごすことができました。
- ・とても幸せな時間でした！次回もたのしみにしています。
- ・席に着いた瞬間から、おもてなしがいろんなところに込められていました。
- ・すてきなカフェタイムをありがとうございました。ホンモノのカフェに来たような雰囲気にわくわくしました。

◆子どもたちからの感想◆

- ・たのしかった。
- ・計画から全て自分たちで考えてすることができ、達成感を感じた。
- ・店員さんの仕事をイメージできた。
- ・コーヒーを淹れられるようになった。
- ・次回は実際に値段をつけてお金を稼いでみたい。
- ・キッチン係が楽しかったのでまたやってみたい。

子どもたちにとっても、スタッフにとっても初挑戦となった“こもれびカフェ”は大成功でした！

子どもたちが自然とお互いに声をかけ合いながらカフェを成功させるために頑張っている姿や、ひとつひとつの作業やお客さんとの関わりを楽しんでいる姿をたくさん見ることができました。また、来てくださった保護者さんやスタッフの幸せいっぱい表情がともて印象的でした。

子どもたち自身でひとつの企画を作り上げ、多くの人と楽しみを共有できたこと、多くの人に幸せを提供できたことが子どもたちの成長や自信に大きく繋がりました。子どもたちからも「次回はいつやるの?」「次はお金を稼いでみたい」などの声上がり、子どもたちにとっても“こもれびカフェ”は『働く意欲や関心』につながった体験になりました。

おわりに

お仕事体験講座では、最初は自信がなさそうにうつむきがちだった子どもたちも、回を重ねるごとにみるみる顔が上がり表情も明るくなっていきました。6回の講座と1回の実習でしたが、プロに触れた子どもたちの吸収率はすさまじく、毎回の成長変化が楽しみになるほどでした。しかし、子どもたちにとって初めてとなるお仕事体験に参加・完走することは容易ではなかったと思います。信頼できる人からの後押しや励まし、講師・実習先のみなさま・サポートスタッフからの良いところのフィードバックなどにより、強みや成長変化に自身でも気付けたことが子どもたちにとって大きな力になったと感じます。ご協力いただいた実習先のみなさまも子どもたちを温かく受け入れてくださり、子どもたちのために何かしたい、子どもたちに自分の仕事を知ってもらえて嬉しいなどの感想をいただきました。そのような想いが子どもたちに伝わり、次の職業への興味や意欲につながったのだと思います。

また、追加事業として企画・開催した”こもればカフェ”では、子どもたちの自主性、協調性などの芽が少しずつ芽生え始め、社会とつながる準備ができてきました。

これらの事業を実践して言えることは、大人との適切な関わり合いがあれば、子どもたちの可能性はどんどん開花していくということです。これからもさまざまな事業をとおして、子どもたちの支援を継続していきたいと思っています。

Special Thanks ～当事業にご協力いただいた皆さまに、改めて心から感謝の意を表します～

【お仕事体験講座】

一般社団法人 ブライトシフト / サポートスタッフ(スクールソーシャルワーカー)

igria / 梅鉢工房 / 関西マツダ阿波座店

SQUARE / ル・クロ・ド・マリアージュ / YMCA とさぼり保育園

【こもればカフェ】

SQUARE / Café Weg



【MEMO】



一般社団法人こもれび

〒550-0015

大阪市西区南堀江3丁目11-22 HORIE JNSビル 6階

連絡先：06-4394-8697

【最寄り駅】

大阪メトロ 千日前線「西長堀」駅 6番出口から徒歩4分

【法人Webサイトなど】

【フリースクール・えこじえむ】

